平成29年度学校評価（年度末集計）　北海道釧路湖陵高等学校（全日制）

【評価の尺度】 A(4)とてもそう思う　B(3)そう思う　C(2)そう思わない　D(1)まったくそう思わない

	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	評価項目	中間反省（人数） A	B	C	D	前期平均値	年度末反省（人数） A	B	C	D	後期平均値	前期・後期比較
教育目標	学習指導	1 アクティブ・ラーニングを中心にした授業改善 2 SSHや医進類型等の成果の学校全体への定着 3 新学習指導要領を見通した学習指導の研究と改善 4 生徒の主体的な学習を強化する指導のあり方の研究	1 授業研究WGを中心とした全校体制による授業研究と発信の推進 2 SSHの継続採択に向けた準備の充実と今年度事業の着実な実施 3 校外研修の実施と校内へn確実な情報の還流 4 進路指導と連携した現状分析と指導のあり方の検討	1 校内研修の更なる推進と拠点校事業にともなう他校への発信と還流 2 KCS及びSS・KSのつく学校設定教化・科目の充実と相互連携 3 大きな変化が予想される地歴公民の科目や理数探究を中心にした研究 4 分掌・教科・学年が連携した検討の実施	①校内研修が推進され、実効性がある	20	28	4	0	3.31	24	24	2	0	3.44	↑
					②学校設定教科・科目を通じて生徒の学力向上が図られている	19	31	2	0	3.33	19	27	4	0	3.3	↓
					③新学習指導要領を見通した学習指導の研究と改善が図られている	12	32	8	0	3.08	14	31	5	0	3.18	↑
					④アクティブ・ラーニングを中心とした授業改善が図れている	20	27	5	0	3.29	21	27	2	0	3.38	↑
					⑤SSHや各指定事業の成果が学校全体に定着している	16	26	10	0	3.12	19	28	3	0	3.24	↑
	生徒指導	1 生徒の心に届く生徒指導の実施 2 生徒の人権感覚・自己肯定感と他者尊重の意識の伸長 3 特別活動・部活動を通じた成功・失敗体験と協働の喜びの獲得	1 生徒に考えさせる指導を通じた未然防止の取組 2 他者を尊重し、いじめを許さない態度の育成 3 「文武両道」を基本とする中での各種活動の推進	1 禁止に留まらない考えて判断させる取組の推進 2 いじめ防止をはじめとする人権感覚及びネットリテラシーの望ましい定着 3 生徒の主体的活動と時間の有効活用による質の向上	⑥あらゆる場面を通じて生徒に考えさせ判断させる生徒指導を行っている	13	29	9	1	3.04	13	28	8	1	3.06	↑
					⑦いじめ防止やネットリテラシーの望ましい定着に関した指導を行っている	19	28	5	0	3.27	14	34	2	0	3.24	↓
					⑧特別活動や部活動を通じて生徒の主体的な活動を促す指導を行っている	21	29	2	0	3.37	17	29	4	0	3.26	↓
	進路指導	1 進路指導理念の浸透を目指した生徒・保護者との対話の継続 2 目標達成を目指す生徒集団の形成と努力を当たり前とする雰囲気の醸成 3 生徒の現状に関する職員全体の理解の推進と協力体制の確立	1 3年間を見通した進路計画と進路情報の適切な発信及び二者・三者面談の効果的な実施 2 クラス・学年を越えた望ましい相互刺激を目指す取組と学習集団の形成 3 進路希望や模試結果等の生徒に関する情報の適切な管理と共有	1 1・2学年における指導のあり方に関する全校的な検討と取組及び保護者の理解形成に向けた取組の継続 2 個と集団としてのそれぞれの望ましいあり方を導く指導の実施 3 生徒情報の職員全体での適切な共有及び関係者による日常的な情報交換と現状分析	⑨進路指導理念が職員・生徒・保護者間で共通理解されている	13	28	8	3	2.98	18	25	5	2	3.18	↑
					⑩生徒個々及び集団全体それぞれに対して望ましい進路指導を計画的に行っている	16	30	4	2	3.15	12	32	4	2	3.16	↑
					⑪進路に関する生徒情報の共有化及び関係者による日常的な情報交換と分析が行われている	17	28	4	3	3.13	16	28	3	3	3.14	↑
	健康安全指導	1 学校生活に困難を抱える生徒の早期発見と組織的対応 2 釧路の地域特性を踏まえた自然災害に対する危機管理体制の徹底	1 保健部と学年が連携した多角的な生徒情報の収集と生徒・保護者への適切な支援 2 防災・減災を踏まえたマニュアルの点検と訓練の改善	1 職員全体での情報共有と外部機関との効果的・継続的な連携 2 防災計画・危機管理マニュアルの点検と効果的な訓練に向けた改善	⑫学校生活に困難を抱える生徒へ組織的な対応が行われている	30	17	5	0	3.48	28	22	0	0	3.56	↑
					⑬災害等の危機管理体制が図られている	13	31	8	0	3.1	13	33	4	0	3.18	↑
学校運営	信頼される学校づくり	1 適切な学校評価と着実な改善 2 地域との様々な連携の広まりと情報提供 3 PTA・同窓会との連携	1 評価項目の重点化とスケジュールを定めた改善の実施 2 部活動の地域参加に対する支援やボランティアへの生徒の参加 3 PTAとの協力に関する検討	1 重点を絞った評価項目の設定と学校課題の明確化 2 生徒の負担にも配慮しながら幅広い地域との連携を模索 3 学校祭等でのPTAとの協力による生徒の活動支援	⑭学校課題が明確化され改善に向けて組織的に取り組んでいる	15	28	8	1	3.1	12	31	6	1	3.08	↓
					⑮地域との連携が図られている	10	29	12	1	2.92	8	32	10	0	2.96	↑
					⑯PTA・同窓会との連携が図られている	17	31	4	0	3.25	14	31	5	0	3.18	↓
	組織運営	1 分掌・担任等の適切な役割分担と協働 2 職員の情報共有と組織的な業務遂行	1 学校全体を俯瞰した業務分担と協働 2 分掌間・分掌と学年間の連携強化	1 業務分担の固定化を排した分担の推進 2 部長主任間の連携強化と各構成員への確実な情報伝達	⑰職員間で適切な役割分担と協働体制が確立されている	10	26	16	0	2.88	10	20	19	1	2.78	↓
					⑱部長主任を中心として組織的に確実な情報伝達が行われている	14	32	6	0	3.15	14	29	7	0	3.14	↓
	教職員の資質向上	1 授業改善に向けた研修の継続と実践 2 教育相談や発達障害に関する全職員のスキルアップ	1 実効性ある校内研修の確立と積極的な校外研修 2 保健部による研修の推進と学校全体への還流	1 教科での共通テーマに基づく研修・考査問題の改善に向けた取組 2 保健部を中心とした校外研修と職員への還流	⑲教科指導力向上に向けた研修、考査問題の改善への取組が図られている	10	36	6	0	3.1	11	32	6	1	3.06	↓
					⑳教育相談や発達障害に関する全職員のスキルアップが図られている	14	30	7	1	3.1	12	34	4	0	3.16	↑

総数52名